

日本性科学学会 ニュース

第29巻 第2号

平成22年（2010年） 6月

発行人：大川 玲子 印刷所：(株) 絢文社

第30回日本性科学学会/日本性科学連合 第12回性科学セミナーのご案内

会 期：2010年10月16日（土）第12回性科学セミナー
会 期：2010年10月17日（日）第30回日本性科学学会

会 場：倉敷市芸文館 アイシアター
〒710-0046 岡山県倉敷市中央1丁目18-1 TEL 086-434-0400
JR 倉敷駅南口より徒歩で約15分、タクシーで約5分
JR 岡山駅から倉敷駅まで約17分（山陽本線または伯備線）

会 長：永井 敦 川崎医科大学泌尿器科教授

参 加 費：性科学セミナー 3,000円（学生1,000円）
性科学学会 5,000円（学生1,000円）
性科学セミナー＋性科学学会（2日間） 7,000円（学生2,000円）

テ ー マ：「男と女 ～性を科学する～」
特 別 講 演 「日常診療で出会うHIV 感染症/エイズの現状」
川崎医科大学血液内科学教授 和田 秀穂
特 別 講 演 「ナンパを科学する～ヒトのふたつの性戦略～」
東京大学教養学部附属教養教育高度化機構特任助教 坂口 菊恵
会 長 講 演 「明快 男性医学」
シンポジウム 「がんと性：性科学的観点からのアプローチ」
1. 男性性機能：昭和大学藤が丘病院泌尿器科准教授 佐々木春明
2. 女性の性機能の基本的な話題：国立病院機構千葉医療センター産婦人科外来管理部長 大川 玲子
3. 泌尿器科癌と男性性機能：川崎医科大学泌尿器科講師 常 義政
4. 生殖補助技術の現状と社会的取り組み：岡山二人クリニック院長 林 伸旨
5. 医療従事者による性相談・情報提供：九州がんセンター乳腺科副看護師長・乳がん看護認定看護師 小野 菊代

一 般 演 題

合同懇親会（美術館ツアー・パーティー）：2010年10月16日（土）性科学セミナー終了後
大原美術館（本館1F）〒710-8575 岡山県倉敷市中央1-1-15
懇親会参加費：5,000円

*一般演題募集要項：一般演題を募集します。
抄録原稿600～800字程度として、下記URLより登録をお願いいたします。
（締切：2010年7月31日）<http://www.med-gakkai.org/jsss30/>

第30回日本性科学学会事務局：〒701-0192 岡山県倉敷市松島577 川崎医科大学泌尿器科学教室
担当：医局長 常 義政（じょう よしまさ）、研究補助員 檜垣 春恵（ひがき はるえ）
TEL：086-462-1111 FAX：086-463-4747
E-Mail：urology@med.kawasaki-m.ac.jp
ホームページ：http://www.med-gakkai.org/jsss30/

Vol. 29	日本性科学会
JG. 2	〒107-0062 東京都港区南青山1-1-1 新青山ビル西館3F 長谷クリニック内 TEL 03(3475)1780 FAX 03(3475)1789

〔症例研究会から〕

「女性の挿入障害の症例」―地方からの通院を乗り越えて

日本性科学会カウンセリング室 渡 辺 景 子

〔はじめに〕 性相談は、昨今の性に対する意識の変化や、ネット等で情報を入手しやすくなり、その敷居は随分低くなっている。しかし、地方の相談者にとっては、「性に対する偏見がまだある」「近くで受診する機関が限られている」「他機関と連携する際の距離や金銭の問題」等、課題は多い。今回、当室で一番相談が多い女性の挿入障害で、地方在住のケースを通し、これらの問題について考えてみた。

症例：A子 41歳（会社員）

〔主 訴〕 挿入障害・未完成婚・挙児希望 〔結 婚 歴〕 3年・恋愛結婚

〔家族構成〕 父・母・妹・本人。現在はA子とA男の2人。〔面接期間・回数〕 1年7ヶ月・15回

〔来室までの経過〕 A子とA男は同じ職場にて出会い恋愛し、結婚した。交際期間中、性交渉はなかった。結婚後、試みるが、A子は挿入時に恐怖・痛みが強く、ペニスの挿入が出来なかった。2年目頃から、二人の関係が悪化し、その影響もあり、A子の性に対する嫌悪感が強まり、セックスレス状態になった。最近、挙児希望が強まり、昨年暮れに地元の病院の産婦人科を受診した。内診は一応可能であったが、その際腰が引け恐怖が強く、同病院の心療内科を紹介された。しかし、性の専門ではないといわれ3回でやめた。今回、ネットで調べ、当室への来室に至った。

〔面接経過〕 初回、2人で来室した。A男は明るく人なつこい印象、一方A子は真面目で、緊張気味。まずA男が口火を切り、上記の経過と主訴について語った。筆者は治療法について伝え、2人は遠距離の中、継続的なカウンセリングを希望した。原則的な行動療法的アプローチからすすめ、A子は腔ダイレーターの使用を希望した。2回目以降も毎回2人で来室し、2回目には腔ダイレーターAとBは8cm以上挿入可との報告があった。3回目には自分でCが5cm可、また夫の手でAも8cm以上可であったという。4回目には自分でCが8cm以上可で、Dは3cm可となり、自宅での練習はスムーズに進んだ。その中で婦人科受診の話題も徐々に出ており、A子は「自分でDが8cm以上挿入可能になったら、性を専門とする医療機関の受診を考えたい」と語った。5回目には、自分でDは3cm可で前回と同じだが、夫の手でBが8cm以上可となった。しかし、医療機関受診の話が現実的に近づいてくると、A子は以前の受診時に「性的状態を理解してもらうまで、6人の医師に回され傷ついた」との不安な気持ちを語り、筆者はその気持ちを受けとめて話を聴いた。6回目には、A子から、性を専門とする医療機関受診の希望が出された。筆者は、2人の住まいの隣県にある、性を専門とする産婦人科のM医師を紹介し、A子の希望する「まずは内診の練習から」との紹介状を書いた。7回目には、M医師のもとを2回受診したとの報告があった。内診は不安であったが可能で、以前のような強い恐怖はなく、その結果異常はなかった。A子は、恐怖なく内診が出来たことの安心感と自信を得、2人での挿入練習に取り組むことを宿題とした。8回目に、挿入練習を試みたが、A男が勃起不十分で2cm以上は進まなかったという。しかし、その後もカウンセリングと産婦人科受診を平行し、2人では挿入練習を継続した。医師からは半年位を目途に自然妊娠を勧められ、了解した。12回目には挿入可で腔内射精も可能となった。A男も泌尿器科で精液検査を行い異常がなく、妊娠への希望が膨らんでいった。しかしそのことで、A子の不安が強まり、感情の行き違い等があり緊迫した関係になることがあった。その後A男は理解を示し、関係修復を行なった。現在2人は、自然妊娠しなかったため、県内で人工受精が可能な病院を探し、M医師からの紹介状を持ち、妊娠のテーマに取り組んでいる。

〔考 察〕 挿入障害の治療は、一般的には根深い心理的問題を含むことが多く、治療は難航しやすいが、本ケースは、主に行動療法で治療し治癒した。その途中、婦人科受診が恐怖なく可能になり、その結果妊娠に向けての治療にも取り組んでいる。症例研究会では、以上のようにスムーズな経過で治癒した意味等について話し合われた。挿入障害の原因として、母子関係の問題は大きいが、A子の場合、乳幼児期からの母子関係の基本的なものの欠如というより、悪い男性イメージが影響しているのではとの意見が出された。それをパートナーに転嫁していたが、関係性の改善により、性の問題も乗り越えられたとの意見等が出された。A子夫婦は、地方在住のため、幾つかの機関を受診するに際し、遠距離通院をせざるを得なかった。この2人の場合は、経済的にゆとりがあり、時間の融通が効く立場であったことが、それを可能にした。今後、多くの人が治療に取り組めるように、地方でも専門的に性相談が出来る機関が増えることを期待する。

日本性科学会総会議事録

日時：2010年5月30日 午後1時00分～1時30分
場所：東京慈恵会医科大学西新橋校 1号館5階講堂

司会者が議長を誰にすべきかを会場に諮った。会場からの「司会者に一任」の声を受け、塚田攻第29回日本性科学学会会長が議長となる。以下、同議長により進行。議長より、「出席者36名、委任状140名。総会が成立した」との報告があった。

議題1 2009年度事業報告

- 2009年度の事業報告が阿部副理事長からなされ、承認された。(資料1)

議題2 2009年度決算の承認

- 2009年度の決算が阿部副理事長より報告された。(資料2)
- 長田尚夫監事・本多洋監事により監査がおこなわれたとの報告があり、決算は承認された。

議題3 2010年度事業計画案の承認

- 2010年度の事業計画案が、提示され承認された。(資料3)

議題4 2010年度予算案の承認

- 2010年度の予算案が提示され承認された。(資料4)

議題5 役員選任

- 配付資料の通り、役員が選出されたことが報告された。

議題6 第31回日本性科学学会学会長選任

- 大川理事長より茅島理事が推薦され、承認された。

議題7 資格認定委員会報告(阿部副理事長)

- 2009年度新規資格認定数 セックス・カウンセラー 0名
セックス・セラピスト 0名
- 2009年度資格更新数 セックス・カウンセラー 2名
セックス・セラピスト 2名
- 2010年3月31現在 セックス・カウンセラー 12名
セックス・セラピスト 34名

第30回日本性科学学会学会長挨拶

- 永井敦会長より「岡山にて2010年10月17日に開催。多くの方の参加を期待している」との挨拶があった。

阿部副理事長による閉会の挨拶

〈総会資料1〉

2009年度(平成21年)事業報告

(2009年4月1日~2010年3月31日)

1. 第14回総会

日時：2009年5月24日 午後1時00分～1時30分
場所：東京都・東京慈恵会医科大学西新橋校1号館5F講堂
出席者：40名 委任状：112名

2. 会員状況

会員数
2008年度末
正会員 284名 賛助会員 4法人 名誉会員 5名
2009年度末
正会員 305名 賛助会員 4法人 名誉会員 5名
年度内会員移動
入会員数
正会員 39名 賛助会員 0法人 名誉会員 0名
退会員数
正会員 18名 賛助会員 0法人 名誉会員 0名

3. 会の運営

- 1) 理事会 2回
- 2) 幹事会 12回

4. 学術集会開催

- 1) 第29回日本性科学学会
日時：2009年11月1日
場所：埼玉県・太宮ソニックシティ小ホール
会長：塚田 攻(埼玉医科大学神経精神科・心療内科講師)
テーマ：男と女こうつくられる

5. 研修会、研究会の開催

- 1) 第38回性治療研修会
日時：2009年5月24日
場所：東京都・東京慈恵会医科大学西新橋校1号館5F講堂
- 2) 第4回日本性科学会近畿地区研修会
日時：2010年2月14日
場所：大阪市・大阪市立大学医学部附属病院5F講堂
- 3) 症例研究会 6回開催

6. 学会雑誌、学会ニュース発行

- 1) 学会雑誌 2回発行
- 2) 学会ニュース 4回発行

7. 資格認定制度実施状況

- 1) 新規資格認定数 セックス・カウンセラー 0名
セックス・セラピスト 0名
- 2) 更新資格認定数 セックス・カウンセラー 2名
(保留1名)
セックス・セラピスト 2名
(保留1名)
- 3) 有資格者数 セックス・カウンセラー 12名
セックス・セラピスト 34名
(2010年3月31日時点)

8. 関連団体との交流

1) 国内団体

- (1) 日本性科学連合 (JFS) 第11回性科学セミナー
加盟団体：日本性科学会・(社)日本家族計画協会・
財団法人日本性教育協会・日本思春期学会・日本性機能学会
日時：2009年10月31日
場所：埼玉県・大宮ソニックシティ小ホール
- (2) 第12回GID (性同一性障害) 学会
日時：2010年3月20～21日
場所：札幌市

(3) がんと性研究会

日時：2009年11月29日

場所：東京都・東京大学医学部教育研究棟

(4) その他

2) 国際学会

(1) 性の健康世界学会

日時：2009年6月21～25日

場所：スウェーデン・イエーテボリ

(2) トランスジェンダー・ヘルス専門家協会第21回 隔年集会 (WPATH)

日時：2009年6月17～20日

場所：ノルウェー・オスロ

(3) その他

〈総会資料2〉

2009年（平成21年）度決算

（2009年4月1日～2010年3月31日）

〈総会資料3〉

2010年度(平成22年)事業計画案

(2010年4月1日～2011年3月31日)

1. 学術集会開催

1) 第30回日本性科学学会

日時：2010年10月17日

場所：倉敷市・倉敷芸文館アイシアター

会長：永井 敦(川崎医科大学泌尿器科教授)

テーマ：男と女 ～性を科学する～

2. 研修会，研究会の開催

1) 第39回性治療研修会

日時：2010年5月30日

場所：東京都・東京慈恵会医科大学西新橋校1号館
5F 講堂

2) 第5回日本性科学会近畿地区研修会

日時：2011年2月(予定)

場所：大阪市立大学医学部附属病院5階会議室

3) 症例研究会

年6回予定(奇数月)

3. 学会雑誌，学会ニュース発行

1) 学会雑誌 2回発行

2) 学会ニュース 4回発行

4. 資格認定制度の実施

5. 関連団体との交流

1) 国内団体

(1) 日本性科学連合(JFS)第12回性科学セミナー

日時：2010年10月16日

場所：倉敷市・倉敷芸文館アイシアター

(2) GID(性同一性障害)学会

日時：2011年3月19～20日

場所：東京都・ゲートシティ大崎

会場：山口悟(ナグモクリニック院長)

(3) がんと性研究会

(第9回医療従事者向け：がん患者さんの性を支援
するための研修会)

日時：2010年11月14日

場所：東京都・東京慈恵会医科大学管理棟9階

(4) セクシュアリティ研究会

中高年のセクシュアリティ第2回調査準備中

(5) その他

2) 国際学会

(1) アジア・オセアニア性科学会

日時：2010年8月4～7日

場所：インドネシア・バリ

(2) その他

〈総会資料4〉

2010年(平成22年)度予算

(2010年4月1日～2011年3月31日)

日 本 性 科 学 会 役 員

名誉理事長（顧問）	松本 清一	(社)日本家族計画協会会長 群馬大学・自治医科大学名誉教授
名誉副理事長（理事）	野末 源一	村上学園総長
理事長（国際関係担当）	大川 玲子	国立病院機構千葉医療センター外来管理部長・産科医長
副理事長（認定制度・総務担当）	阿部 輝夫	あべメンタルクリニック院長
常務理事（学術担当）	武田 敏	千葉大学名誉教授
理 事	石河 修	大阪市立大学大学院医学研究科産科婦人科学教授
財務担当	村口 喜代	村口きよ女性クリニック院長
財務担当	塚田 攻	埼玉医科大学かわごえクリニック神経精神科講師
倫理担当	金子 和子	日本性科学会カウンセリング室臨床心理士
研修担当	永井 敦	川崎医科大学泌尿器科教授
学術担当	高波眞佐治	東邦大学医療センター佐倉病院泌尿器科教授
研修担当	川野 雅資	東京慈恵会医科大学医学部看護学科母性看護学教授
広報担当	茅島 江子	東京慈恵会医科大学医学部看護学科母性看護学教授
広報担当	菅沼 信彦	京都大学大学院医学研究科人間健康科学系教授
参 与	石津 宏	琉球大学名誉教授
監 事	堀口 貞夫	主婦会館クリニックからだと心の診療室院長
幹 事	針間 克己	はりまメンタルクリニック院長
幹事長（総務・JFS担当）	大谷眞千子	千葉県立衛生短期大学教授
副幹事長（研修担当）	矢島 通孝	やじま泌尿器科クリニック院長
倫理担当	高橋 都	獨協大学医学部公衆衛生学講座准教授
学術担当	山中 京子	大阪府立大学人間社会学部社会福祉学科准教授
学術担当	森村 美奈	大阪市立大学大学院医学研究科講師（産科婦人科）
研修担当	杉山 正子	すぎやまレディースクリニック院長
財務担当	石丸徑一郎	東京大学大学院教育学研究科臨床心理学コース
広報担当	花村 温子	埼玉社会保険病院臨床心理士
倫理・広報担当	本郷 元夫	新医学普及協会理事
事務局長	長池 博子	長池産婦人科医院名誉院長
顧 問	斎藤 宗吾	三聖病院名誉院長
名誉会員	熊本 悦明	(財)性の健康医学財団名誉会頭、札幌医科大学名誉教授
	玉田 太朗	自治医科大学名誉教授
	廣井 正彦	山形大学名誉教授
	山崎 高明	山崎産婦人科医院院長
	本多 洋	三井記念病院総合検診センター嘱託
	長田 尚夫	聖マリアンナ医科大学泌尿器元教授
	亀谷 謙	亀谷メンタルクリニック院長
第30回日本性科学学会会長	永井 敦	川崎医科大学泌尿器科教授
第31回日本性科学学会会長	茅島 江子	東京慈恵会医科大学医学部看護学科母性看護学教授

第11回アジア・オセアニア性科学会のお知らせ

<http://www.aofs2010bali.com/registration.html>

日 時：2010年8月4-7日 場 所：バリ（インドネシア） Discovery Karitika Plaza Hotel

会 長：Prof.Arif Adimoelja 学会テーマ：Sexuality throughout the life-span

参加費：学会前の予約登録：500USD 会場：550USD

発表申し込みは締め切られました。日本性科学連合を通じて近畿日本ツーリストのツアーを組んでおります。

お問い合わせは日本性科学連合事務局 e-mail:info@jfs1996.jp

資格認定委員会より

日本性科学会副理事長（認定制度担当） 阿部 輝夫

日本性科学会「セックス・カウンセラー」「セックス・セラピスト」資格認定規定、並びに更新規定（日本性科学会雑誌No.1に掲載）に基づき、2010年度の新規資格認定並びに更新資格認定を行います。

尚、資格認定申請期間は、新規・更新ともに8月1日～8月31日です。新規資格認定希望者は、申請書類を日本性科学会事務局までご請求下さい。資格更新該当者には、事務局より7月中に更新申請書類を郵送いたします。

いずれの場合も資格認定規定を御熟読の上、ご申請下さい。御不明な点は学会事務局にお問い合わせ下さい。

(tel 03-3475-1780 受付時間 月・水・金 10:00～13:00)